

## 工事費等調査報告書

## 1. 調査概要

依頼番号	三重-施-01
------	---------

業務名称	令和5年度 単価契約 愛知・三重県内建設資材価格等調査業務
事務所名	三重河川国道事務所
工事件名	-
調査実施期間	別紙参照
調査対象業者	施工実績を有する業者
調査方法	書面調査及び電話による聞き取り調査

## 2. 調査結果

[illegible]

歩掛表-1 開閉装置据付(架台、ラック棒、ラック棒継手含む)

1門分当り							
名称	規格	単位	数量	摘要	雑器具損料		
					1	2	3
機械設備据付工		人	24.000		●	●	
普通作業員		人	6.000		●	●	
ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型）賃料	10t吊 油圧レタ付（～排1次・低騒音含）	日	3.000				●
発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型)・排対型(第2次基準値) 定格容量(50/60Hz) 37/45kVA	日	6.000	単価表-1			●
雑器具損料1		%	10.500				
雑器具損料2		%	1.500				
雑器具損料3		%	2.000				

〔条件〕

1. 雑器具損料1は、据付材料費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

2. 雑器具損料2は、据付補助材料費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

3. 雑器具損料3は、ジャッキ、チェーンブロック類、据付用雑器具等の費用であり、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

4. チェーンブロック取付用仮設支保は、別途計上する。

歩掛表-2 開閉装置撤去(架台、ラック棒、ラック棒継手含む)

					1門分当り		
名称	規格	単位	数量	摘要	雑器具損料		
					1	2	3
機械設備据付工		人	16.000		●		
普通作業員		人	4.000		●		
ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型）賃料	10t吊 油圧レタ付（〜排1次・低騒含）	日	3.000			●	
発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動（超低騒音型）・排対型（第2次基準値）定格容量（50/60Hz）37/45kVA	日	4.000	単価表-1		●	
雑器具損料1		%	1.500				
雑器具損料2		%	2.000				

〔条件〕

1. 雑器具損料1は、撤去補助材料費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
2. 雑器具損料2は、ジャッキ、チェンブロック類、撤去用雑器具等の費用であり、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
3. チェンブロック取付用仮設支保は、別途計上する。

歩掛表-3 機側操作盤据付 屋内閉鎖自立型 2門用							
							1面当り
名称	規格	単位	数量	摘要	雑器具損料		
					1	2	3
機械設備据付工		人	2.000		●	●	
普通作業員		人	1.000		●	●	
電工		人	4.000				
ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型）賃料	10t吊 オペレータ付（排1次・低騒音型）	日	0.500				●
発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動（超低騒音型）・排対型（第2次基準値）定格容量（50/60Hz）37/45kVA	日	1.000	単価表-1			●
雑器具損料1		%	10.500				
雑器具損料2		%	1.500				
雑器具損料3		%	2.000				

[条件]

1. 雑器具損料1は、据付材料費等の費用であり、据付労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

2. 雑器具損料2は、据付補助材料費等の費用であり、据付労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

3. 雑器具損料3は、ジャッキ、チェーンブロック類、据付用雑器具等の費用であり、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

1面当り							
名称	規格	単位	数量	摘要	雑器具損料		
					1	2	3
機械設備据付工		人	1.000		●		
普通作業員		人	1.000		●		
電工		人	2.000				
ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型）賃料	10t吊 オペレータ付（排1次・低騒音）	日	0.500			●	
発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動（超低騒音型）・排対型（第2次基準値）定格容量（50/60Hz）37/45kVA	日	1.000	単価表-1		●	
雑器具損料1		%	1.500				
雑器具損料2		%	2.000				

〔条件〕

1. 雑器具損料1は、撤去補助材料費等の費用であり、撤去労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

2. 雑器具損料2は、ジャッキ、チェンブロック類、撤去用雑器具等の費用であり、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

